

多面的機能支払(農地・水・環境保全向上対策)の紹介

活動組織の紹介

だいらほんごうみぞくみあい

平本郷溝組合(熊野市)

設立 平成 27 年 3 月 31 日
取組面積 田: 516a 畑: 0a
主要施設 開水路: 3.1km 農道: 1.6km
構成員 農業者: 11 人 非農業者: 1 人

三重県南部に位置する熊野市は、年間を通した平均気温が17℃、冬でも9℃と温暖な気候ですが、私たちが活動する飛鳥町は標高300mの山間部に位置し、冬は氷点下を記録するなど、高原の寒冷な気候となっています。また、市全体の65歳以上の人口が44%と高齢化社会が進行する熊野市において、私たちが活動する飛鳥町においては52%となり、さらに厳しい状況となっております。過疎高齢化に加え、山間部ゆえのシカやイノシシなどによる獣害被害もあり、農業を取り巻く環境は非常に厳しい状況となっております。そのような状況下でも、集落が一体となり、農業が有する多面的機能を維持していくことは、農業及び集落を継続していく上でも大変重要な取組となっています。

●水路の維持活動

清流・大又川に隣接し、水資源が豊富な当地区においても、田んぼへの水路を守っていくことは大変重要な活動となっています。毎年3回水路の草刈り、必要に応じて堰の補修を行います。



●獣害柵の保守管理

自然環境が豊かな山間部では、シカやイノシシなどの獣たちと隣り合わせて生活を営んでいます。そのため、農業を営む上では、獣害対策が不可欠となっています。平成26年度に自力施工により、集落一帯を網で囲みました。管理を怠るとシカやイノシシの侵入を許すことになり、耕作意欲の減退につながってしまいます。そのため、定期的に獣害柵の見回りを行い、修繕を行っています。



●景観形成の取組

田んぼ中心に集落が掲載されている当地区において、



遊休農地化については、景観上大きな問題となります。そのため、地区の遊休農地となっている田んぼにコスモスの植栽を行いました。

●農地維持活動の推進について

構成員の高齢化が進む平本郷溝組合ですが、地域が丸となった維持・修繕計画的に行っていることにより、維持管理活動が軽易に行うことができいております。これからも集落と農業を守るために、活動を継続していきたいと考えております。

